

JTA、2009年度も福島からの修学旅行臨時便を運航！

福島県のご要請を受け、2004年度から6年連続で運航

2008年4月10日

第08005号

日本トランスオーシャン航空（JTA、本社 那覇市、社長 大森 徹）は、このほど来年度（2009年度）の「那覇＝福島線修学旅行臨時便運航基本計画」を決定致しました。2009年11月、那覇＝福島線で福島県内高校の皆様の修学旅行向け臨時便を合計8往復運航致します。

JTAの直行便で結ばれている沖縄と福島の両県は2003年2月、両県間の相互交流促進を目指した「うつくしま・ちゅらしま交流宣言」を採択され、各界各層で交流が行われています。

今回の基本計画も交流促進策のひとつとして福島県よりご要請をいただいたもので、2004年度以来、6年連続での運航となります。

JTAはこれからも、沖縄・福島両県の皆様と連携し、相互交流促進のお手伝いをさせていただきます。

今回策定した2009年度臨時便運航基本計画の概要は下記の通りです。

運航路線 那覇＝福島線
 運航期間 2009年11月10日～20日（福島空港出発日は10日～17日の8日間）
 運航便数 8往復16便
 予定ダイヤ 福島 那覇 福島を午前発、那覇 福島 那覇を午後発
 航空機 ボーイング737-400型機（150人乗り）
 運航会社 日本トランスオーシャン航空（JTA）

【ご参考1】これまでの運航実績・計画

	期 間	運航便数	人数(入域ベース)
2004年度	11/15～23(6日間)	6往復12便	6校/1,350名様
2005年度	11/15～23(6日間)	6往復12便	6校/1,495名様
2006年度	11/13～23(7日間)	7往復14便	7校/1,490名様
2007年度	11/14～22(5日間)	5往復10便	5校/1,185名様
2008年度(予定)	11/10～21(9日間)	9往復18便	9校/約2,000名様

【ご参考2】「うつくしま・ちゅらしま交流宣言」

沖縄・福島の両県は 2003年2月、青少年育成、教育文化、産業、健康福祉の4分野で交流を深めることに合意。修学旅行や子供たちの相互訪問などが行われております。

以 上